

## 浜益海岸清掃活動 230名参加 浜辺のゴミ拾いで自然体験 都会の子どもが田舎の自然と触れ合う



水崎会長のあいさつ



宮田勉・浜益地区区長



「NPO法人北海道海浜美化を進める会」（以下、進める会）は、桜が咲き乱れる4月27日に石狩市浜益地区の川下公園海岸海水浴場の浜辺のゴミ拾いを行い、約230人の参加者がすがすがしい1日を歩んだ。

石狩市浜益地区は札幌市から車で2時間ほど北上した所にあり、海水浴場は夏場になれば札幌市などから海水浴客が集まり、その数は30万人にも及ぶ。

ところが、シーズン以外の浜辺を見るとゴミがいっぱい。漂着ゴミや漁具、レジャー用品や生活用品の廃棄物などで、浜辺はまるでゴミ捨て場のような様相となる。

「進める会」では、今から8年前から同地区の浜辺のゴミ拾いを行って来たが、回を重ねるごとに参加者が増え、今回は230名余りに膨れ上がった。しかも、今回は同地区の観光協会、商工会も協賛し地元の住民も多数参加した。

この日の天候は曇り一時雨という不安定なものだった。前日の天気予報でも降水確率が60%で、どれ位参加するか不安だったが、いざふたを開けてみれば、大型バス2台の他マイクロバス、自家用車で市民が集まり、雨も降らず順調に行うことができた。地域子供会がまとまって参加したり、大学教授がゼミ生と共に参加したり、新聞・テレビを見て参加した人たちもいた。

# カニ獲りと浜辺のゴミ拾いで春を満喫 親子で活動、絆を確認



## 4トンのゴミを回収

10時30分からの開会式では、浜益地区の宮田勉区長が、「札幌から子供たちをはじめこんなに大勢来て下さったことに本当に感謝しています。ゴールデンウィーク前に海岸を清掃して下さいることもありがたいこと」とあいさつ。

700 ㍍余の海岸線を二手に分かれて清掃。正味1時間半であったが、海岸に散乱していた様々なゴミを見る間にきれいになり、トラック2台約4トンのゴミが集まった。

参加した中学生は「あんなに沢山あった浜辺のゴミがたった1時間半余りの活動できれいになるなんて本当にびっくり。皆で一生懸命頑張った証拠ですね」と語った。

また、今回はゴミ拾いの後で、カニ獲りを企画した。「カニが釣れたときには、「やったー」との歓声上がる。

「子どもたちが真剣になってカニ獲りをする表情を見ると、自然体験って本当に大切なんです」と親子連れで参加した砂川幸美さんは語った。

進める会の今後の活動は、6月2日に「北海道洞爺湖サミット」に合わせて、洞爺湖町海岸でゴミ拾いを行う予定です。



夢中になってカニ捕りをしました